科目名	i	必修・選択	単位数	類型
ポルトガル	語	選択	2 単位	GC科
教科書・副教材等 ブラジルによる生きたブラジルポルトガル語・初級 (株式会社		同学社)		

1 学習目標

基礎からアルファベットや文法を学ぶことにより、日本語や英語を異なる文法体系を持つということを理解する。また、ポルトガル語を学ぶと同時に、ポルトガル語圏とするポルトガル及びブラジルの文化についても学び、視野を広げる。一年間通して学習することにより、簡単な会話ができるようにする。

2 学習概要

ア 導入: やさしい文型から難しい文型へ、単純で具体的な場面から複雑で抽象的な場面へ会話を中心に、初級後期 レベルの「話す」「聞く」「読む」「書く」の総合的な力を身につけ、日常生活の基本的場面で、状況に 応じたやり取りができることを目的とする。

イ 活動: この授業は、異文化理解の一環としてブラジル文化に親しむことを目的とし、DVD やインターネット上の 映像を用いて、ブラジルの歴史や現状、そして在日ブラジル人コミュニティについて学ぶ。また文法の授業で学んだ知識をもとにして、状況設定した日常会話の練習、シャドーイング、台詞の暗記を行う。

ウ 活動:「話す(やり取り)生徒はポルトガル語が口からスラスラ出てくるまで自主学習する。生徒にロール プレイをさせる。2人組にして、双方にそれぞれ内容の異なる指示書(ロールカード)を渡して、それぞ れの指示書に沿って会話活動を行なう。

3 学習方法

(1)授業への取組

授業で、各課の会話のいつ. どんな場面で使う文型のポイントを理解し、練習会話を暗記することで、実際のコミュニケーションの場で学習した文法が使えるようになることを目指す。定期的に小テストの復習では、間違えた問題を確認することでわからなかったところがどこなのかを確認できる。わからなかった問題を解きなおすことで、疑問点を残さず先に進むことができる。

(2) 家庭学習

予習は先生が解説する正解の和訳と自分の和訳を比べて「どこが、なぜ違うのか」を理解しやすくするための準備。納得できない場合は質問もできる。音読も「ここ読んでみて」と指名されたときに慌てず読むための準備。付属の音声データを聞いて真似して発音しよう。音読は、文字と音を一致させたりポルトガル語単語を定着させたりするのにも効果的だと言われている。

(3) 学力向上のために

ポルトガル語を向上させるためには、単語帳やノートを開いて語彙をたくさん覚えないといけないと思うかも しれない。ポルトガル語のテストではテストでいい点を取るために、何度もくり返しノートにスペリングを書い て覚えること。言葉は何度も聞き発す(発話)機会を多く作ることができれば、自然に身についていく。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能(①)」、「思考力・判断力・表現力(②)」、「学びに向かう人間性(③)」の3観点で評価を行う。具体的に評価方法以下の通り。

- 定期考査 (中間・期末考査、学力テスト) · · · · · · · · ①、②
- ・授業中の確認テスト (ペーパー) または発表 (□頭) ……………①、②、③

(2) 評価規準

_				
		知識・技能(①)	思考力・判断力・表現力(②)	学びに向かう人間性(③)
	評	○外国語の学習を通じて、言語の働きや	○場面・目的・状況等に応じて、幅広	○外国語を聞いたり読んだりして,情報
	価	役割などを理解し、外国語の音声、語彙	い話題について、情報や考えなどの概	や考えなどを的確に理解している。
	基	・表現,文法の知識を身に付けている。	要・詳細・意図を外国語で的確に理解	○外国語の学習を通じて, 言語やその背
	準	○外国語の音声、語彙・表現、文法を、	したり適切に表現したりしている。	景にある文化を尊重し、自律的・主体的
	(3領域(話すこと[やりとり],話すこ	○外国語で聞いたり読んだりしたこ	に外国語を用いてコミュニケーション
	論	と [発表] 、書くこと) において実際の	となどを活用して、場面・目的・状況	を図ろうとしている。
	理	コミュニケーションの場面で運用でき	等に応じて、幅広い話題について外国	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し
1	•	る技能を身に付けている。	語を話したり書いたりして、情報や考	手・書き手に配慮しながら、外国語で聞

表	えなどの概要・詳細・意図を適切に伝	いたり読んだりしたことを活用して,自
現	え合っている。	分の意見や考えなどを話したり書いた
Π		りして表現しようとしている。
)		

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

5 学習計画

	学習計画			
学期	単元名	学習のお	aらい (内容のまとまりごと)	考査等
291	Lição1	・言語・国名・アルファベット・ポルトガル語の特徴と発音・特有のイントネーション	・ブラジルについて知ることができる・アルファベットの読み方・母音の発音・子音の発音	
_	Lição2	・自己紹介の仕方 ・挨拶をしよう ・名詞(性・変換・単数、複数) ・定冠詞・不定冠詞	・自己紹介ができる ・ブラジルと日本の挨拶の違いについて理解している ・名詞・冠詞、定冠詞の男性形及び女性形を正しく覚え られたか	
学	Lição3	・疑問文・否定文の作り方 ・人称代名詞(主格) ・Ser とEstar(~である)動詞の 活用と使い方 ・形容詞の使い方と特殊な変化 ・不定形容詞	・疑問文と否定文を作れる ・人称代名詞に伴うSer と Estar の動詞を正しく使えるかどうか ・形容詞の置く位置、その活用法を正しく覚えられたか ・形容詞を用いて文章を作ることができるか	
期	Lição4	・所有詞・前置詞と定冠詞の結合・家族を表す語・その他の続柄	・人称代名詞によって異なる所有詞を覚えているか ・前置詞と定冠詞・指示詞の結合を正しく理解できたか ・家族を表す単語を読んで、意味を理解することができ る	期末 考査
	Lição5	・規則動詞の活用 動詞の語尾が-ar,-er,-irの現在形 ・前置詞	・規則動詞の語尾の規則性を作った文の構造についての 知識を身につけている ・前置詞を使って文章を作ることができるか	
	Lição6	・命令法の形と接続法現在の形	・命令文の作り方の知識を身につけている ・指示詞の使い方と不定指示代名詞を理解したか	
11	Lição7	・動詞estar(〜である) estarの4つの使い方 ・estar+形容詞 ・estar+com+抽象名詞 ・estar+em+場所 ・estar+現在分詞	・estarの活用形を覚えたか ・estarの使い方を覚えたか ・estarによって、今の状態・気分・所在地・今している ことを表現できるか ・易しい会話表現を覚え、自らその表現を使うことがで きるかどうか	
学	Lição8 Lição9	 ・不規則動詞quererの活用(~ほしい) ・数詞(基数・序数) ・動詞estarと動詞ser(~である) ・場所の副詞 ・時間の言い方 ・午前・午後の表現 ・カレンダーの読み方 ・日や曜日の言い方と使い方 	・querer動詞の活用形を覚えたか ・数詞を暗記し、奇数と序数の違いを理解したか ・estar動詞とser動詞の違いを理解したか ・場所の副詞を暗記して、文章を作ることができるか ・時間を表現できる ・月と季節を表す単語を正しく言う知識を身についている ・自分や友達の誕生日について尋ねたり、答えたりする	
期	Lição 10	・動詞ter (持っている)・所有 ・年齢 ・義務・不規則動詞poder・可能性・許可禁止・依頼・動詞saber (知っている)	・ter動詞の活用形を覚えたか ・terの用法 ①所有 ②年齢 ③義務を理解したか ・poder 動詞許可や依頼を表現の使い方を理解したか ・saber動詞特有の使い方を理解し、poder動詞との違い が分かるか	期末考査
111	Lição 11	過去形 完全過去形と不完全過去形直説法完全過去形の規則動詞直説法完全過去形の不規則動詞	・過去のことを述べているポルトガル文を聞いて、内容を正しく理解することができる ・規則動詞、不規則動詞の過去形についての知識を身についている ・完全過去形と不完全過去形の違いを理解したか	
学期	Lição 12	・完全過去―不規則動詞の活用 ・完全過去を使った表現 ・動詞ir(行く)	・二つの種類の過去形を使って、自分で文章を作ることができる ・動詞ir文を読んで意味.文構造を理解できる ・動詞ir「行く」 ・「これから~します」「~するつもりです」といった「未来や意志」を表すことができる。	